論文を書く上でのポイント・査読のポイント（飯島ゼミの内容を一部改変）

宮治研究室

　論文や抄録等を他の人に見てもらう前に，各自で十分なチェックをすること．本来は，下記A,B,Cの様な事項は，他の人にチェックしてもらう要素ではない．

A. 字句の誤り

1. 句点は全角ピリオド「．」，読点は全角カンマ「，」とする ⇒ 置換する場合は，小数点等に注意こと
2. 3音節以上の最後の長音記号は無し（○コンピュータ　×コンピューター）
3. 英数字は半角、数字は3桁ごとにカンマ

B. 図表の誤り

1. 図番号（タイトル）は図の下，表番号（タイトル）は表の上，センタリング
2. 図番、表番は正しくふられているか？（LaTeXの場合チェック不要）
3. 本文の図番、表番とずれがないか？（LaTeXの場合チェック不要）

C. 読みやすさ

1. 1文の句点、読点は適切か？　1行に句読点いずれかがあるか？
2. 段落先頭文字は1字下げされているか？（LaTeXの場合チェック不要）
3. 1段落には2行以上あるか？(推奨)
4. 1段落は12行（文）以内か？　　5～10行が適切
5. 7文字以上のひらがなが続いていないか？
6. 断定形になっているか？　「～と考えられる」「～と言える」は基本ダメ
7. 2重否定、2重推測は無いか？
8. 1文の中で、主旨が変化していないか？
9. 主語に対する述語の対応が正しいか？（主語と述語だけを取り出し，ねじれていないかをチェック）省略されている主語がわかりづらいことは無いか？
10. 十分に図表が使われているか？文章でわかりづらい部分には図表を（図表を入れた上で，説明も必要）．

D. 文章構成

1. 論文構成になっているか？（エッセイではダメ）
2. 根拠のない主張が混ざっていないか？
3. 他の人の文章が，あたかも自分の文章であるかのように書かれていないか？
   1. 少量：鍵括弧くくり適切な参考文献参照とガイド文で明確化
   2. 大きな範囲：どのような参考文献からの出典を文章で明示し，参考文献参照

その範囲を字下げで明確化(LaTeXの場合，\begin{quote}\end{quote}でくくる)

E. 新規性

1. この研究は、社会にとって貢献する可能性が十分あるか？（推奨）
2. 他の研究との差別化が十分か？（違いが十分語られているか？）

F. 文献調査度

1. 他の研究者の研究状況を十分に調査しているか？
2. 国内の論文、海外の論文を取り上げているか？（少なくとも国内は十分に）

G. 完成度

1. 主旨を主張するだけの十分な根拠があるか？

**編集記号の話： 改段落，字下げ，挿入，イキ，交換**